

# 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立菅原小学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

「運営に関する計画」（最終評価）について共通理解を図った。今後も各学年の発達段階に応じて児童の実態を適切に把握し、児童一人一人を大切にされた教育活動の推進に努める。また、子どもたちの健全育成に向けて保護者や地域への啓発をこれからも継続する。

## 2 年度目標ごとの評価

### 年度目標：【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を73.7%以上にする。

◎84.3%で目標値を大きく上回った

○校内調査における「学校は、子どもが安心して過ごせるよう適切な安全対策をとっている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合92.9%を上回る。

△92.4%で目標値をやや下回ったが高値である

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に児童の割合79.8%を上回る。

◎84.5%で目標値を大きく上回った

○校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の1年生～6年生項目について、肯定的に回答する児童の割合80%を上回る。

◎84.5%で目標値を上回った

○達成状況に関しては妥当である。

異学年交流に重点を置き取り組んでいるが、来年度さらに計画的に実施していく。ふれあい昔遊び・ふれあい清掃などでは、地域の協力を得ながら体験活動を充実させ、子どもたちの自己有用感を高めていく。

### 年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

△達成することができなかった

○校内調査における「外国語（英語）の学習は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合85.8%を上回る。

△84.5%で目標値を下回った

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を63.2%以上にする。

◎68%で目標値を上回った

○校内調査における「給食をのこさず食べるように心がけている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合94.2%を上回る。

◎95%で目標値を上回った

○達成状況に関しては妥当である。

今年度、「楽しい！」授業をめざした校内研究に取り組んだことで、子どもたちの学びへの意欲づけをすることができた。基礎基本を大切にされた日々の学習の積み重ねも経年調査の結果に表れてきていることが分かった。

運動能力・体力向上の取り組みをしていることが分かった。遊びを含め、楽しく運動をする環境づくりをする必要があることが分かった。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の78.7%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕

◎88.7%で目標値を大きく上回った

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準（基準1）を満たす教員の割合を73.3%以上にする。

△72.5%で目標値をやや下回った

○年度末の校内調査において「学校は情報公開をよく行っている」と回答する保護者の割合94.4%を上回る。

△93.2%で目標値をやや下回った

○達成状況に関しては妥当である。

従来の黒板を使った授業づくりと ICT を活用した授業づくりのバランスが大切であるように感じた。「心の天気」に取り組むことで、ICT には児童理解につなげるという活用方法があることも分かった。

会議の精選を進めることで、働き方改革につながっていることが分かった。

### 3 今後の学校運営についての意見

○教育活動を効果的なものにするためには、基本的な生活習慣を確立させることが大切であり、保護者の協力が必要不可欠である。学校での指導とともに保護者へ啓発活動をより進めていくことを期待する。

○校長室だよりや学校ホームページによって、学校の教育活動を理解することができた。今後も引き続き学校ホームページ等の充実に努めてほしい。